

親鸞とマルクス主義

— 闘争・イデオロギー・普遍性 —

こんどう しゅんたろう

近藤俊太郎 著 ▼ A5判・上製カバー・544頁・定価八、二五〇円

2021年8月刊行



近現代日本において、マルクス主義と交差した局面で構築された親鸞論に注目し、「親鸞を語る」という営為の思想的意義を検証する。

【目次】

序章 親鸞とマルクス主義への入射角

補論 近代真宗史への入射角

— 宗教的立場と社会的立場の二元論とその超克

第I部 仏教とマルクス主義 — 解放と阿片の間

第一章 高木顕明と初期水平運動の親鸞

— 非戦と平等をめぐる

結章 まとめと展望 — 親鸞・マルクス主義・近代

第二章 反宗教運動と仏教

あとがき

第三章 佐野学の宗教論 — 宗教批判と親鸞理解

人名索引／事項索引

第II部 戦時日本の親鸞

— 危機の時代との向き合い方

第四章 戦時下本願寺の聖典削除と皇国宗教化

第五章 戦後親鸞論への道程

— マルクス主義という経験を中心に

第III部 戦後日本の親鸞 — 起動する社会的実践

第六章 二葉憲香の親鸞談論

— 仏教の立場に立つ歴史学

第七章 戦後日本における反靖国運動と親鸞

◆著者略歴

一九八〇年京都府に生まれる。二〇〇三年龍谷大学文学部史学科仏教史学専攻卒業、二〇〇八年龍谷大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得満期退学。現在本願寺史料研究所研究員、龍谷大学非常勤講師。博士(文学)(龍谷大学)。
 単著に『天皇制国家と「精神主義」 — 清沢満之とその門下』(法藏館、二〇一三年)、共編著に『近代仏教スタディーズ — 仏教からみたもうひとつの近代』(法藏館、二〇一六年)、『令知会と明治仏教』(不二出版、二〇一七年)、『近代の仏教思想と日本主義』(法藏館、二〇二〇年)などがある。

注文書	
(書店印)	
ご担当	様冊
近藤俊太郎 著	法藏館
定価八、二五〇円	住所
親鸞とマルクス主義	お電話
— 闘争・イデオロギー・普遍性 —	お名前
ISBN:978-4-8318-5565-7 C3021	

ご注文はFAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
 TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
<http://www.hozokan.co.jp> info@hozokan.co.jp

近代史・仏教